

# 橘町の見どころ

## まちの歴史シリーズ ④

橘町HP <https://tachibana-net.jp>

歴史・史跡

クリック

発行：橘町まちづくり推進協議会  
ふるさと部会  
発行日：令和7年12月1日  
責任者：吉野 勝美  
原稿作：宮下 正博  
事務局：橘公民館 22-3884

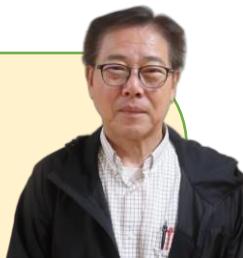
今月号の案内者は

上野区長 溝上 俊次さん

今年の「橘くんち<sup>①</sup>」は  
神輿が新しくなった<sup>②</sup>。  
ご寄付いただいた皆さま、  
ありがとうございました。

そいせん、今回はくんちと

神輿のことば、ちょっとばっかい  
紹介すっぱい。詳しくはタッパ君  
とミサエちゃん、よろしく。



●潮見神社の前身は、潮見山に祀られて  
いた「島見社<sup>③</sup>」だと考えられているよ。

●律令時代(奈良～平安前期ころ)には、  
ここは島見郷と呼ばれていたんだ。

●今から約800年前、1237年に橘に  
やって来た橘公業さんが、潮見神社を  
自分たちの氏神とするんだけど、その頃  
には「潮見神社」がすでにあった<sup>④</sup>んだ。

●ここでは、すでに流鏑馬<sup>⑤</sup>も行われて  
いて、熊本県の菊池を領地していた菊池  
経直<sup>⑥</sup>というえらい人が、流鏑馬で落馬  
したので、くんちの時「墓前祭」が行われ  
ているよ。

●神輿がいつからあるか不明だけど、今  
度の修復では、江戸時代の大工の名<sup>⑦</sup>  
や昭和の初めの総代さんの名前がでて來  
たよ。

### ★① 橘くんち

どんな祭りなの?



プログラムをかんたんに紹介するね  
(時間はだいたいの予定です)

9:00 奉納相撲大会 土俵まつり

小学校児童の相撲大会

10:00 (この頃、菊池神社一行到着)

10:30 経直公墓前祭

11:30 健勝祈願

12:00 (神輿行列者集合、着替え)

13:00 上宮祭 終了後神輿スタート

13:30 中宮祭 終了後神輿行列

このとき、神輿の下をくぐり抜け

ると、ご利益がある

14:30 神輿を上宮へ

### ★② あたらしくなった神輿

どこが新しくなったの?



右の写真を見て!

あたら  
新しくて、ぜんぶ、ピカピカにな  
ったよ。

かがみもピッカピカ



### ★③しまみ社



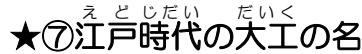
もうりりゅういち  
毛利龍一氏 (今の宮司さんのひいじい  
ちゃん) の『潮見神社由緒記』に書いて  
あるよ

## ★④潮見神社は 橋 公業さんが始めた？

## 潮見神社はいつからあったの？



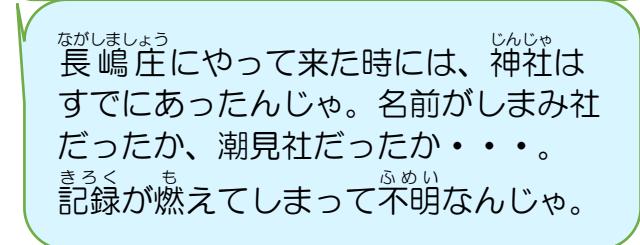
注③ 菊池経直は菊池氏 5 代当主。菊池氏は熊本県菊池市を中心に領地していた豪族。菊池氏がわざわざ潮見までやってきた理由を「荘園を支配していた」説がありますが、菊池氏は高木氏一族で、高木氏一族が肥前一円を支配していたからと思われます



## 「くどい」の「くどい」でどうなことが分った？



ワシから言おう。ワシが登場  
するのは初めてじゃが、じい  
さんになった公業じやよ。

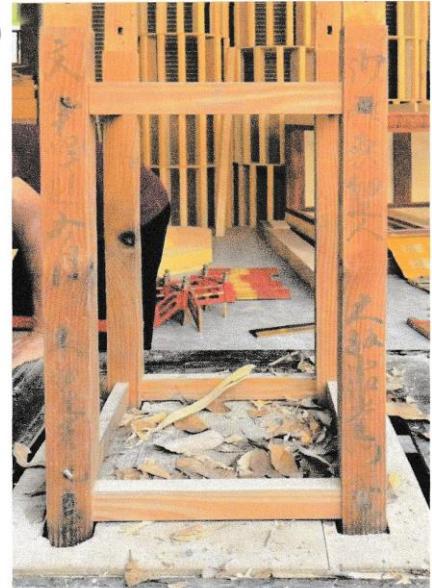
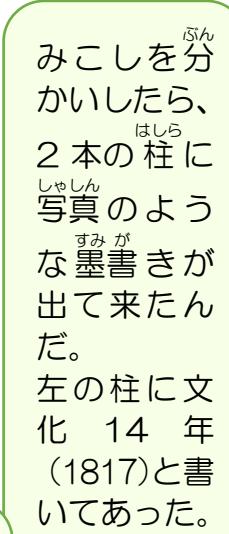
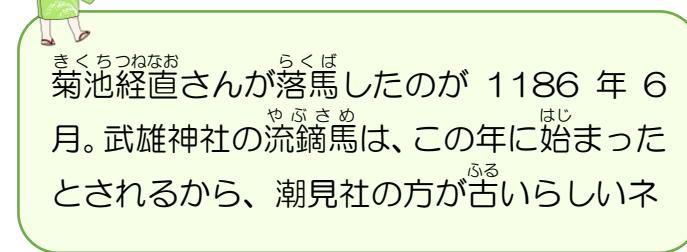


注①島見郷は飛鳥時代のはなし。それから400年以上もたって、島見郷には荘園ができ、長嶋庄とよばれていました。

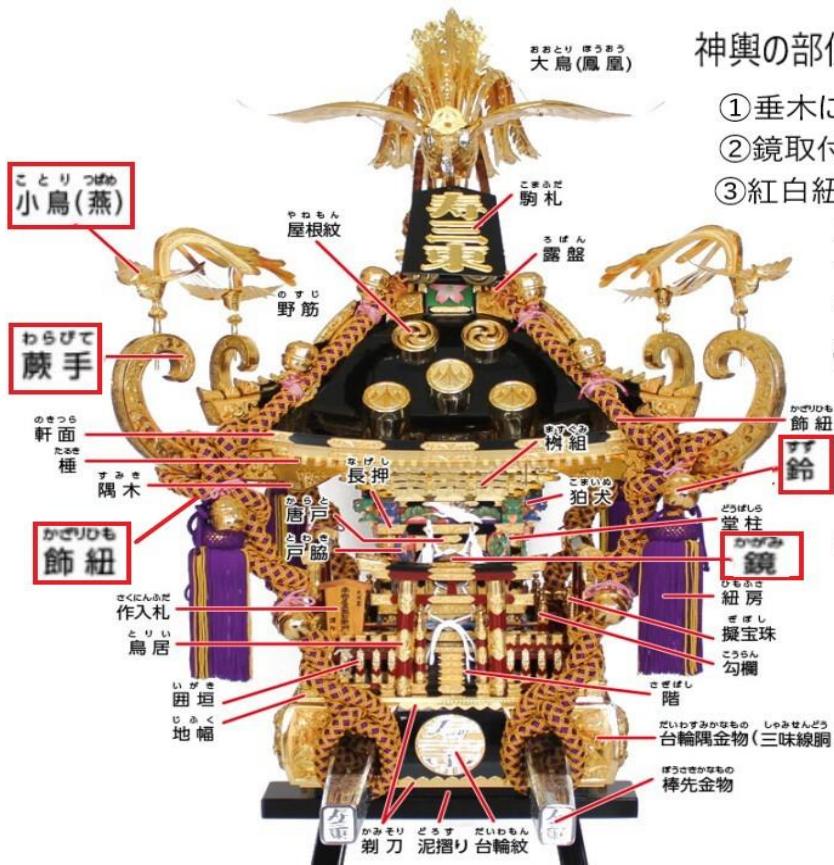


## ★⑤⑥潮見社のやぶさめと菊池経直

## 武雄とどっちが古いの？



左側柱 文化14丁丑(1817年)5月 大工〇〇  
右側柱 神輿細工人 大坂北御堂門前 通り  
※江戸時代 第11代將軍徳川家斉 208年前



## 神輿の部位名と部品取り付け

- ①垂木にすだれを取付け
  - ②鏡取付け
  - ③紅白紐取り付け

蕨手の根元に結ぶこと  
一方の端を担ぎ棒に他の紐でくる  
各々に3個づつ均等に鎗を取付け

- ④ 蕨手に燕を差し込む  
蕨手下の留金参照
  - ⑤ 留金部に蕨手飾りを下げる  
飾の取り付け部参照  
蕨手部の完成形写真参照
  - ⑥ 担ぎ棒の留金（突起部）が前側  
圓圓を頭が前になるように差込む

※欄干部や蕨手などすべてが華奢にできているので、それらの部位を手で引っ張ったりしない事

※今月号の出典は吉野千代次氏の「橋町史跡めぐり」と中島信夫氏の「橋町の歴史」を参考にしました。

今回ご紹介したのは『[潮見神社の歴史](#)』でした（始まりについては記録がありません）